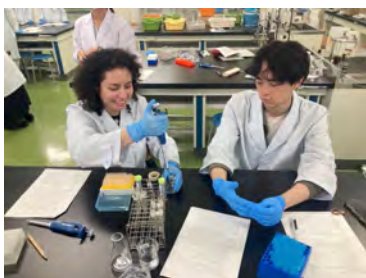


国際保健推進室からのお知らせ



【Daniel & Nicole】
ワシントン大学でも
未経験の実習内容！

【Welcome Party】
大勢の検査技術科学専攻の学生が国際交流を体験しました。



【Steven】
検査技術科学専攻の学生自ら話しかけて実験のお手伝い

ワシントン大学との交換留学 「グローバル人材の育成」

検査技術科学専攻は、米国ワシントン大学と交換留学の協定を結んでおり、6～7月にかけて3名が保健学科を訪れました。学生が主体となって授業の受講、実習の体験、研究室見学など受入体制をプランニングし、総計30名以上の学生が自主的に協力してこのイベントを成功させました。グローバルな活動やリーダーシップの育成という理念を、多くの学生が自覚・実感できる、素晴らしい機会となりました。

理学療法学専攻

「モンゴル国との国際交流」

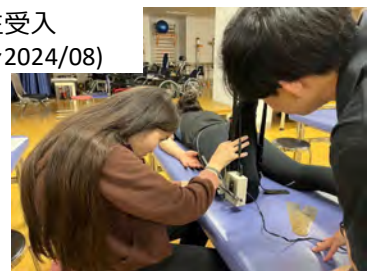
2007年よりMongolian National University of Medical Sciencesとの交流が始まり、2023年度は4名の学生がモンゴル国を訪れ、保健医療や理学療法について学び、ホームステイ等を通じて学生交流を行いました。また、2023年11月より2名の大学院留学生を受け入れ、本学の講義への参加、大学院生との共同研究等に取り組んでいます。派遣・受入を通じ、同じ理学療法を学ぶ学生同士の交流が深まっています。

(理学療法学専攻 田鹿, 佐藤, 中澤)



本学学生のモンゴル研修 (2023/09/17～25)

留学生受入
(2023/11～2024/08)



群馬大学大学院保健学研究科附属研究・教育センターとは

群馬大学医学部保健学科及び大学院保健学研究科では、社会の課題解決を目指して、研究、教育、地域保健活動、国際保健活動に積極的に取り組んでいます。これらの活動を進めるための組織として保健学研究科附属研究・教育センターが設置され、このセンター内には5つの推進室があります。今回は国際保健推進室からの報告になります。

私たちの活動をご覧ください、ご意見をお聞かせください。

アンケートへのご協力をお願いいたします。⇒

お問合せ先：保健学研究科長 齋藤貴之 (tsaitoh@gunma-u.ac.jp)

